高校生特別チューター——構文読解、英作文の薦め

なぜ構文読解の練習が必要か

近年の大学入試では、長文問題が当たり前のように出題されます。時には制限時間内に読んで説くのが困難な問題も多々あります。そこで「この段落では大体こういうことを言っている」という事を掴む為の、速読力が必要になる。しかし、速読力をつけるには、まず一文一文を厳密に訳しきる練習が必要になるのです。この構文読解トレーニングが、皆さんの読解力向上に役立つ事を期待します。

英作文の必要性

皆さん、今まで英文法を学んできた事と思います。しかしこんな経験はないでしょうか。Aテストで文法問題はできるけど、最後の英作文問題だけできない、という経験。そのような事態を解決するため、基本的なレベルから英作文能力を鍛え上げていこうと思います。特に国公立を志望している方には強くお勧めします。

挑戦と反復

とにかくチャレンジと復習。最初の挑戦はぼろぼろの結果になってしまうかもしれません。しかし努力して考え抜いたという過程と、回答例、解説をしっかり理解し、復習する事が大事です。そして、少し日が経って、やや問題の内容を忘れてきた時にもう一度、挑戦してみましょう。その時に、前回よりどれほど成長する事ができたか、確かめましょう。大事なのは挑戦と反復です。

手順

1. 左側の解説欄で構文や文法事項をチェック
2. 右側の問題に挑戦。この時、左側の文法説明ページは見ない。もし文章中に知らない単語があれば、問題ページの一番👇に単語を日本語訳付きで並べています。アンダーラインが引いている単語は、高校の学習過程で覚えてほしい単語ですので、覚えていなければ覚えて下さい。復習の時は、単語を見返さなくてもいいように。
3. 解いた問題を「松本BOX」に提出。提出された者をチェックして、回答例及び解説を添えて、直接または間接的に返却します。詳しくはまず提出してみて下さい。そのあと、個別に対応します。
4. 返ってきたら復習。文章の内容を忘れた頃にまた解いてみる。何度も繰り返す。

問題の進め方

講師デスクの所にファイルを用意します。その中に問題の紙が入っているので、自分が解きたいものを選んで、コピーするなり、ノートに問題をメモするなりして、学習して下さい。もしなくなっているページがあれば、職員PCで「業務フォルダ→松本フォルダ→高校生トレーニングフォルダ→英作文フォルダor構文フォルダ」と進むと、データがあるはず。松本個人PCにもデータは残しておきます(壊れない限り)。

松本BOXの使い方もろもろ

1. 長文読解トレーニング、及び英作文トレーニングの回答提出。名前忘れないように。
2. 学校で扱った記述系問題のチェック。学校教材で英作文や日本語記述問題をする事があるでしょう。その問題で、自分の答えが正しいか解らなかったら、その問題と自分の答えをルーズリーフか何かに書いて、提出して下さい。チェックします。
3. 「こんな事もやってほしい」という意見書。可能な限り、実現しようと思います。

期待する!!!

英作文一課

文型

|  |  |
| --- | --- |
| SV | He runs fast. (彼は速く走る) |
| SVC | The wine was made in France. (そのワインはフランス製だ) |
| SVO |  |
| SVOO | May I ask you a favour?　（お願いがあるのですが） |
| SVOC | I named the dog Shiro after its white body. (私はその犬をその白い体にちなんでシロと名付けた。) |

S=主語　V=動詞　O=目的語　C=補語

1. SVの文章

上の例文では、HeがS、runsがV。SVの文章にfastという副詞が入っていて、これはSVOCのどれにもあてはまらない。

1. SVCの文章

SVCの文章では、常にＳ=Cが成り立つ。The wine(そのワイン)=made(造られた)

taste (味がする) sound (に聞こえる) look (に見える) become (なる)

The steak tastes great. そのステーキはおいしかった。

You look pale. 顔色が悪いですよ(←あなたは顔色が悪く見えますよ)

The story sounds strange. その話は奇妙だ。(←その話は奇妙に聞こえる。)

It became dark. (暗くなってきた)

1. SVOの文章
2. SVOOの文章

I gave him a pen. = I gave a pen to him.

I bought him a pen. = I bought a pen for him.

例文は、お願いをしたい時によく使う表現。覚えておきましょう。またWill you do me a favour? でも同じ意味。

1. SVOCの文章

O=Cの関係。例文では、the dog=Shiroの関係。

name A B(after C)　「(Cにちなんで)AをBと名付ける」

call AB 「AをBと呼ぶ」

副詞って何？？？

動詞や形容詞、副詞を修飾する。run 「走る」について「どのように走るの？」

→run fast　「速く走る」　→run very fast 「とても速く走る」

問題

１　私はいつも朝早くにおきます

２　英語は国際語であり、世界中で使われている。

３　数学と理科が大好きな科目だったが、歴史はそれほど好きではなかった。

４　私は彼に金を貸したが、彼がそれを返す事を期待してはいない。彼が信用できるかは、彼がきちんとその金を返すかどうかに掛かっている。

５　どうぞ楽になさってください。

６　この店の料理は、見た目はよかったが、味はたいした事がなかった。

７　こちらに塩をとって頂けませんか。

表現

国際的な　　international 期待する　　　expect

A次第だ　　　depend on A 渡す　　　　pass

構文一課

ポイント

前置詞句や副詞を文章から取り除いて、SVOCを見極める。

SVOCや副詞の説明は「英作文一課」を参照するように。

As a rule vegetable oils are better for you than animal fats.

↓　前置詞句を()でくくってみる

(As a rule) vegetable oils are better (for you) (than animal fats.)

S V C

基本のSVOCを見つけるには、前置詞句などを括弧でくくってみると、SVOCの部分だけ浮かび上がる。まずその基本部分を訳してから、括弧の中を付け加えると訳し易い。

|  |
| --- |
| As a rule vegetable oils are better for you than animal fats.  一般に、野菜油は動物性の脂質よりも、体に良い。 |

for youの部分は「あなたにとって」と訳すと「私にとってしか良くないの？」という感じがする。だから「あなたにとってよい」というのを「普通の人間の体に良い」と意訳しました。

as a rule 「一般に」　　　　　fat 「脂肪」

問題

次の文章を訳してみましょう。もし手も足も出なかったら、『手助け』問題をやって下さい。

In the history of civilization advances in practical invention undoubtedly preceded progress in theoretical knowledge of the phenomena concerned with such practical invention.

表現

civilization 文明　　advance 進歩、発展　　　practical 実用的な、現実的な

invention 発明　　　undoubtedly 間違いなく　　　precede 先に起こる、先行する

progress 進歩、進歩する　　theoretical 理論的な　　　phenomenon 現象

be concerned with A Aに関わる

|  |
| --- |
| 回答欄 |

手助け問題

In the history of civilization, advances in practical invention undoubtedly preceded progress in theoretical knowledge of the phenomena concerned with such practical invention.

文中のconcerned はbe concerned with の後置修飾で、phenomenaにかかっている。